

20
21th
22

新しい毎日を

step by step 一歩づつ

Tops
Y's men's
Club

Chartered
10th. July 1994

9月号

第21巻
第3号
通巻243号

舞田智之会長主題：新しい毎日を
step by step 一歩づつ

2014～2015年度 主題

国際会長	Talk Less, Do More	言葉より行動を
アジア地域会長	Start Future Now	未来を始めよう、今すぐに
西日本区理事	響き合い、ともに歩む	一こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆくー
京都部部長	『行雲流水』～ Be Y's men ～	



会長：舞田智之
副会長：河原祥博
東田吉末
書記：倉卓也
千賀俊男
会計：加藤信一
山下大輔



狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見出す者は少ない。

マタイによる福音書 7.13-29 狭い門(ルカ13 24)

石黒健太Y's 選

躍動するトップスクラブ

TOPSのパナーにはこまが三個配されています。TOPSのTOPとは独楽(こま)と言う意味もあります。こまは軸を中心に回転し自由に動き回る。回転しなければ、倒れてしまうものです。トップスクラブは止まる事なく躍動し続けると言う意味でもあります。



YMCAとY's

YMCAサービス・ユース事業委員長

石田博紀

皆様、この夏をどのようにお過ごしになりましたでしょうか？8月に入りますますの『豪雨』『土砂災害』が頻発しております。この驚異的な天候に対して気象庁が『平成26年8月の豪雨』と命名した程です。ほんの数日前に京都福知山浸水被害があり全国的にもニュースが流れました。YMCAからは災害支援の要請がありまして、船木ワイズ、森田ワイズが支援に向かっていたきました。

『YMCAサービス・ユース事業委員会』の委員長に指名していただいてからサービス対象の『YMCA』のことが気になり、活動内容や存在意義について一つ一つ考える様になりました。夏の初めのリトセン夏期準備ワークでは草刈りや、施設の清掃など、夏にリトセンを使用する子どもたちに安全で快適な夏の思い出を残してほしい。という事ですし、サバエ開設ワークに関しても同様の事で、意義のある心のこもった活動だと思えました。しかし、我々ワイズメンズクラブは奉仕の最終対象者である『子どもたち』の笑顔を見ることが少なく、本当にこの活動がYMCAの掲げる青少年の育成に役に立っているのかさえ疑問に思う事がありました。

先日、『第12回青い空と白い雲ソラシドキャンプ』に2日間参加させて頂きました。このキャンプは重病の子どもたちの為に医療チームも参加し、普段看病などで遊びに連れて行ってもらえない兄弟達にも楽しく過ごしてほしいというコンセプトの中、私自身参加は初めてでしたので、何をどう手伝えることがあるのか？手探り状態でしたが、他クラブの方々が先頭に立って指示して頂き流しうめん竹を割り、イベントの先回りをして準備し慣れないなりに忙しく1日目を終えました。その夜、参加クラブとの交流の場があり色々話す中で、このキャンプで一番プレッシャーを感じ大変な思いをされているのは、いつ急変するか分からない子どもの命を預かるお医者さんではないか？その子どもたちを引率する二十歳前後のリーダーではないだろうか？所属クラブの垣根を飛び越えて、医療、教育には素人でもその人たちのサポートをできるのがワイズメンズクラブのメンバーではないのか？と熱く語って頂きました。その答えにはとても共感でき、直接的に感謝感激されなくとも出来る事を全力でサポートする、縁の下の力持ちであれたらと強く思いました。2日間を終えて医療チーム、リーダー、YMCA、ワイズでの懇親会は達成感と安堵感で涙涙でした。素晴らしいイベントを開催しているYMCAに感謝。それをサポートさせてもらえるワイズに感謝。支えてくれるワイズメンに感謝。良い仲間、良いクラブ、また良い団体に出会えた事を心より感謝いたします。

まだまだ始まったばかりで今後たくさんの事業がありますが、どれもやりがいのある活動だと思います。時間の許す方は是非参加して頂き、疑問、意義、達成感、感動、感謝を体験してもらえたらYサ委員長としてこれほどうれしい事は無いと思います。

9月強調月間

Menettes

各クラブでメンがメネットの参加を促せる来会の企画を！メネットは是非来会に参加し、ワイズの醍醐味を味わってください！

スケジュール 9・10月

9月 6日(土) 六甲部会
7日(日) リトセン秋季ワーク
10日(水) 部長公式訪問例会
13日(土) 阪和部部会
14日(日) 京都部部会(第二例会)
21日(日) びわこ部部会
24日(水) 役員会

9月 27日(土) 西中国部部会
28日(日) 九州部部会
10月 4・5日 エイズ文化フォーラム
4日(土) 瀬戸山陰部部会
8日(水) 200人例会
25・26日(日) 西日本区次期役員研修会
29日(水) 役員会

納涼例会(8月例会)

日時: 2014年8月6日
場所: With You

山下大輔Y's

皆さん、先日の納涼例会お疲れ様でした！ゲストの方も沢山呼んで頂き大変うれしく思います。納涼例会では、ゲームしたりお酒を飲んだり楽しい例会ができました事をドライバー委員の方にも感謝しております。今期にEMC委員長が掲げましたメンバー増員30名は、クラブメンバーが全員が力を合わせてその目標に向かわないと絶対に無理な目標となります！

そこで、我がトップスクラブの力の見せ所ではないでしょうか！納涼例会時のゲストさんの入会予定は9名(勢いでしたが。。。)でしたがまだまだ目標には達しませんのでこれから色々は例会がありますのでクラブメンバー全員がゲストさんと呼んで頂きたいです。

今後色々な例会がありますので一人でも多いゲストさんと呼んで行きたいです。ゲストさんを連れて来て自慢の出来るクラブですから！ 皆さん宜しくお願い致します。



京都部EMC懇談会

日時: 2014年7月25日
場所: メルパルク京都

牧野篤文Y's

7月25日午後7時よりメルパルク京都大文字の間にて、京都部のEMC懇談会が開催されました。今期EMC事業主査を拝命して、最初の事業でしたが、京都部より総勢73名の出席がり、大変盛り上がりました。その中でも我がトップスクラブからは、なんと！23名のメンバーに出席いただき本当に感謝、感激です。トップスクラブメンバーの皆さんの熱い気持ち、友情に心より厚く御礼申し上げます。

今期は畑本京都部部長より京都部600人体勢にせよ！との命令があり、本気で達成する覚悟です。今、トップスクラブで起きている現象を京都部の全クラブに波及させれば、600人は簡単に達成できると考えています。人間力、親睦、友情、絆、メンバー満足度、の大切さを理解すれば必ずクラブは発展します。今回の懇談会でその事をメッセージとして伝える事が出来たと思います。

京都部600人を達成するためには、トップスクラブは今期30名のメンバー増強が必要です。木村EMC委員長は熱い気持ちで30名増強を目指し頑張っています。皆さん！皆さんの人生においてトップスクラブのメンバーと出会えて良かったと思いませんか？私はトップスクラブの全メンバーの皆さんとクラブを通じて出会えた事に心から感謝しています。この素晴らしいトップスクラブの「人間力の輪」を更に大きくしようではありませんか！数年前に私は「近い将来トップスクラブは日本一のクラブになる」と断言しましたが、いよいよ現実味を帯びて来ました。木村EMC委員長の情熱に応じてメンバー全員が一丸となり、30名増強！達成しようではありませんか！今期の終わりにはトップスクラブ80名！となりメンバー数、絆、メンバー満足度、奉仕活動全てにおいて日本一のクラブになる事でしょう！



例 会 出 席		BFポイント	スマイル	ファン	献 血	
8月報告	メンバー数	49 名				
	(広義会員2名含む)		現金 0 円	8 月 13,000 円	8 月現金 10,338 円	8 月 0 cc
	出席メンバー	39 名	切手 0 円			
	メネット・コメット	0 名				
	ゲスト	19 名				
	メーキャップ	7 名				
	出席率	96 %	累計 0 円	累計 33,000 円	収益累計 29,398 円	累計 400 cc

青い空と白い雲のキャンプ

日時： 2014年8月23・24日
場所： 京都YMCAサバエキャンプ場

森田茂実Y's

8月23日～24日にサバエキャンプ場で開催された「ソラシドキャンプ」の2日目に参加しました。加藤(信)ワイズ、小林ワイズ、河原(祥)ワイズと4人で午前10時を目標に京都を出発しましたが、渋滞に遭い大幅に遅れてしまいました。トップスクラブはお昼の食材の一つの「ゴーヤチャンプルー」の担当で調理開始寸前の到着になりました。

私はゴーヤの種取りを少しだけ、カットは主に東田ワイズ、河原Bワイズが見事な包丁裁き披露していました。コンロを使わず薪で焼くことになり炒めるのは熱さとの戦いになりました。ここでも東田・河原B両ワイズが大活躍で50人分の「ゴーヤチャンプルー」が出来上がりました。子供たちのお昼の食事には「サフランライス」「鶏のから揚げ」「流しそうめん」「サータアンダギー」「焼きパン」と多彩で楽しんで食べていたようでした。

子供たちの食事が一段落したところで私たちも食事させてもらいました。(大変おいしかったです)

私は2日目の昼食からの参加でしたが2日間のキャンプでは色々なプログラムが用意されていたようで子供たちは楽しんでいました。2日目の早朝にはタコの形の「熱気球体験」があり泊まりで参加のメンバーも体験したそうです。(乗りたかったな～)

石田委員長2日間の参加お疲れさまでした。



「フリテン広報事業委員長が行く」

日時： 2014年8月11日
場所： 京都YMCA

河合博之Y's

～20周年記念実行委員会編～

皆さん！こんにちは！前回のYサ・地域奉仕編に続く第二弾です。と言っても、前回は納涼例会でフリテン配布が無く、今回8月号と9月号の連続になりますね。

今回はトップス20周年を迎え、20周年記念実行委員会をレポートします。

高坂委員長の基本方針は「鮮やかに想像し熱烈に望み心から信じ、魂のこもった熱意をもって行動すれば何事も必ず実現する」です！

流石、高坂委員長フォトグラファー魂を窺いしれる基本方針ですね。次に事業計画ですが「会歴5年未満のメンバーで20周年を成功させ、新たに大きな目標を掲げ、確実に一歩ずつ前へと進める団結力と環境を作り上げる」です。はい、5年未満のメンバーで20年の歴史を背負う訳ですよ。わからないことだらけの委員会、参加メンバーは戸惑いと手探りの月日。歴史を作って頂いた先輩方は正直、焦燥と不安な月日を過ごされたのではないのでしょうか？

今までは一歩進んで二歩下がる、二歩進んで一歩下がるの月日でしたが、ここに来て委員会主題「自ら踏み出そう」の通り、参加メンバーが徐々に自ら踏み出しています！今回は記念例会の目的や各メンバーの役割分担を決めることが出来ました。おおまかには、記念例会当日の企画担当グループ、記念アクトグループ、広報担当グループ、事務局グループです。気になる方は、レジュメや打合せ資料などがアップされてますので、自ら踏み出して実行委員会の活動をご覧ください！

まだまだ、決めることは山盛りありますし、皆さんのお知恵を拝借することもたくさんあります！どうか各メンバーが団結し素晴らしい20周年記念事業を成功させましょう！



福知山豪雨災害支援ボランティア

日時： 2014年8月23・24日 場所： 福知山
写真提供者 京都パレスクラブ 人見晃弘Y's





YMCA NEWS

1.後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育
後期募集がはじまります。

お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。
ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。
お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 9月5日(金)午前10時 電話(075)231-4388
スイミング・体育 9月1日(月)午前10時 電話(075)255-4709

2.第4回 AIDS文化フォーラムin京都 プレイベント『トークバック』沈黙を破る女たち 上映会
2014年9月22日(月) 同志社大学 寒梅館 クローバーホール

A.上映会 14:00~16:00 & カフェトークバック 16:00~17:00

ホスト 同志社大学社会学部 准教授 野村裕美

ゲスト 安東医院 精神保健福祉士・パザールカフェコーディネーター 松浦千恵

B.上映会 18:30~20:30

入場料:一般/500円 学生/無料(学生証を提示してください)

事務局:京都YMCA 電話(075)231-4388

3.「第4回AIDS文化フォーラムin京都」～エイズを知ろう エイズで学ぼうIV～

日時・2014年10月4日(土)12:30~18:30、5日(日)10:00~17:15(予定)

場所:同志社大学 新町キャンパス 尋真館

内容:若者/文化/陽性者/医療/教育/セクシャリティーの多様性を理解するなど様々な視点からの講演やワークショップ・展示など多様なプログラムを通して、性の多様性を知ることからHIVを理解していくこと、HIV/AIDSが決して他人ごとではないことを学びます。

入場料:無料

主催:AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会

共催:京都府、京都市

事務局:京都YMCA 電話(075)231-4388

4.ボランティアセミナーのご案内

①ちょっとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会

障がい者や高齢者が街に出かけようとする、まだまだ歩道に段差があったり、自転車などが放置されていたり、電柱が飛び出していたりと…思わぬ事故にあたり支障が多いことがあります。

障がい者も高齢者も子ども、だれもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。スロープや点字ブロックなど、いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさりげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。

今回は、京都YMCA国際福祉専門学校の講師でもある松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また、望ましいサポートについて語っていただきます。

講師 松永信也(まつなが のぶや)氏

1957年 鹿児島県阿久根市出身、現在(公社法)京都府視覚障害者協会副会長、

京都福祉専門学校、京都YMCA国際福祉専門学校非常勤講師。

京都新聞コラム、「見えない世界を生きる」2009年10月~2010年7月連載。

日時 9月27日(土) 午後6時30分~8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 300円

定員 30名(申込順)

②がん患者さんとそのご家族へ 第92回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 9月20日(土) 午後7時~9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円